

DD53形

除雪用ディーゼル機関車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- この商品の対象年齢は15歳以上です。《鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。》
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れてください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- マグネットカプラー（連結器の部品）は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気機能異常が起こる場合があります。

〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季241-22 ☎277-8511 ☎04-7146-0371

(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072 ☎06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時

●電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

■動力ユニットの取り付け (Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105	通勤電車①: コイルパネ台車タイプ
品番11-106	急行電車①: 空気パネ台車タイプ
品番11-107	通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

* KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

●トレーラー車への台車取付

* 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099	通勤電車①: コイルパネ台車タイプ
品番11-098	急行電車①: 空気パネ台車タイプ
品番11-097	通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

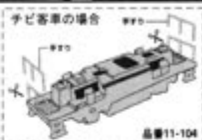
* 床板に直接、ピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。

●機関車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートはがしてシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

* 11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。



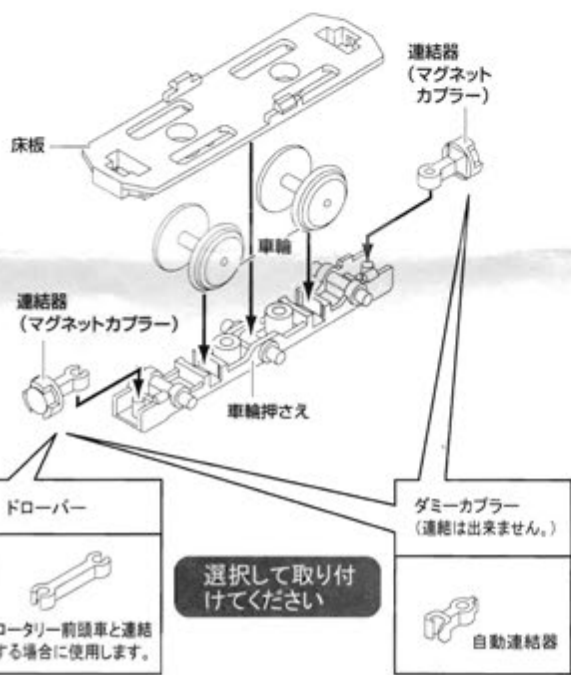
DD53形・Nゲージ化についてのご注意

* DD53形は車体裾が低いため、KATO製動力(11-103)を装着する場合には、幅を削るなどの加工が必要になります。

* 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
* トレーラー台車、バンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが違い(緩い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けてください。

シャーシの組立

- 1 車輪押さえに連結器、車輪をそれぞれセットして、床板を合わせます。
車輪押さへのポケット部はパチンとなるまでしっかり押し込んでください。



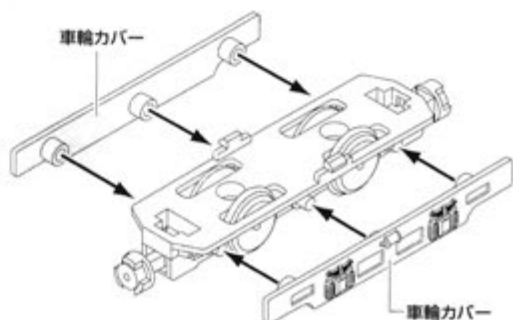
DD53・実車の編成例

●積雪の少ない時は、DD53の2台のエンジンを1台をロータリーの動力に、1台を走行用に割りあてて自走運転します。

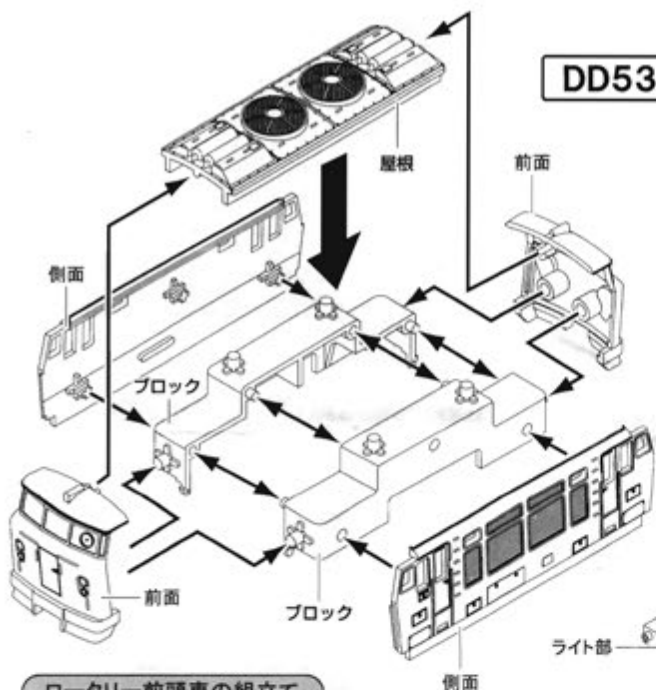
●積雪の多い時は、DD53の2台のエンジンを両方ともロータリーの動力にあてて、補助機関車に押されて運転します。



- 2 車輪カバーを取り付けます。



DD53



DD53の組立て

- ①左右のブロックを合わせます。
- ②屋根を取り付けます。
- ③左右の側面を取り付けます。
- ④前面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせて完成です。

※取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

※取説に記載されている車面は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

ロータリー前頭車の組立て

- ①前後の車輪受けに、車輪をはさみ込みます。
- ②車輪受けをはさんで、左右のブロックを合わせます。
- ③左右の側面を取り付けます。
- ④前面を取り付けます。(上から差し込んでください)
- ⑤ライト部、屋根をそれぞれ取り付けます。
- ⑥左右のウイングを取り付けます。(開・閉を選択)
- ⑦ロータリー部を取り付けて、ウイングを固定します。

Nゲージ化について

DD53への動力ユニットの取り付け (取り付けには加工が必要です)

●KATO製「デビル用動力ユニット」(11-103)をシャーシと交換・装着します。

※11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラスチック)が入っていますので、必ず取り外してから装着してください。

●DD53は車体高が低いため、動力ユニットの床面から3mm下まで、幅を左右約1mmづつ削ってください。

●R140mm以下の急曲線で走行させる場合は、付属のNゲージ用アーノルトカブラーと、カブラーポケットに交換してください。

※DD53ではスカート部が干渉するので、カブラーの一部をカットしてください。(右図参照)

※KATO製2軸貨車にも使用できます。



ロータリー前頭車のNゲージ化

●ブラ車輪を、KATO製「中空軸車輪」に交換・装着します。

※ウイングを広げたままで走行させる場合、線路周辺のストラクチャーなどと接触しないようご注意ください。また急曲線を通過する場合、ウイングを閉じていてもカブラー外側と接触する場合があります。

●DD53との連結にはドローバーを使用します。急曲線を走行させる場合は長い方を使用してください。

※他のNゲージ車面で推進する場合には、カブラーを付属のNゲージ用アーノルトカブラーに交換してください。

レールクリーナー車として使用する場合

ロータリー前頭車を、Nゲージ用レールクリーナー車として使用できます。

●クリーナー用ローラーを装着します。(左右パーツを合わせます)

※ローラーの表面に布(レールクリーナー液を併用)または、サンドペーパーなどを巻きつけて使用します。

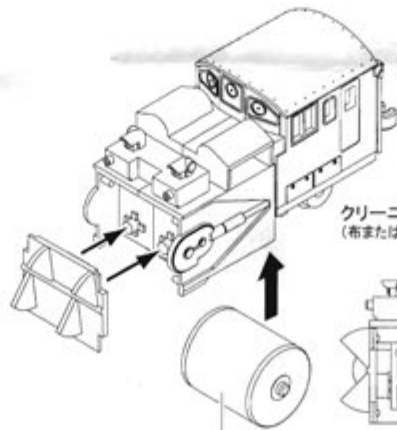
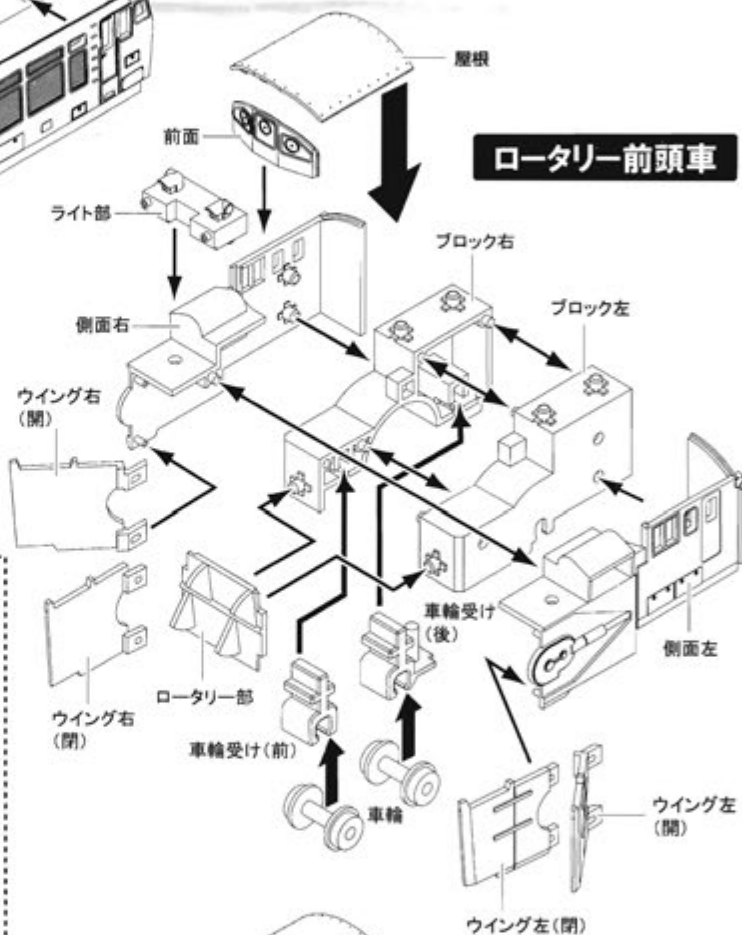
※布、サンドペーパーなどは別途用意してください。(幅13mmの帯状にして巻きつけます。)

(固定方法は通時工夫の上、巻きつけてください。)

※サンドペーパー:両面テープなどで固定。
布:ローラー部品外・内の間に布の端をはさんで固定。

クリーニング効果は使用状況によって変わりますのでご注意ください。

ロータリー前頭車



クリーナー用ローラー
(左右パーツを合わせる)

クリーニング用ローラー
(布またはサンドペーパーを巻きつけ。)

ウェイト(走行安定用)
(この位置に3個搭載します。)

Nゲージ用車輪に交換(KATO製:中空軸車輪)

00000
00000
00000
00000
00000
00000
00000

00000
00000
00000
00000
00000
00000
00000



00000
00000
00000
00000
00000

00000
00000
00000
00000
00000



00

1

00